

第4節 健康づくり

1. ヘルシーピープルみえ・21

(経営企画グループ)

ー北勢県民局桑名保健福祉部の取り組みー

〔重点的な取り組み〕

○たばこ対策

健康づくりにはいろいろな分野があるなかで、桑名保健福祉部では「たばこ」をテーマに地域の関係者の方々と共に13年度から取り組んでいます。

今回のこの事業はヘルスプロモーションの概念を用いMIDORIモデルを使って展開していますが、そのメリットとして①短期間で地域関係者を広範囲に巻き込んでいくことが可能になること、②関係者の日常的業務において、たばこ対策に繋がるひとつひとつの活動の位置付けが明確になったり、個々の活動の視点が拡がり、環境まで含めた広範囲な拡がりにつながったことがあげられます。

＜昨年度の取り組みから＞

1. 多くの関係者を巻き込んでいく必要性

行政と地域の医師会・歯科医師会・薬剤師会・学校教育との連携はこれまでもありましたが、各々が主体的に考え一緒に取り組んでいくということが難しい現状でした。

今回「喫煙対策協議会」を立ち上げ、「たばこ」にかかわる多くの地域関係者に参加を得たことは大きな意義がありました。

2. 合意形成

1回目の協議会で社会調査法のひとつである「デルファイ法」を使って、取り組む課題を絞り、決定プロセスの初期の段階から住民参加を得たことで事業を協働で取り組むことが可能になりました。

2回目の協議会で、「喫煙と健康に関するアンケート調査」の検討をしました。その結果を踏まえて3回目の協議会では、「みんなで取り組む目標」の明確化と目標値の設定を話し合いで決めました。「これをやればこうなる」、「あれはできないけど、これならできるから目標はここまでいけるかな」、など真剣に話し合ったことは、事業目標を共有するうえで大変重要な意味を持ちました。

＜平成14年度の取組みから＞

3. 計画の実行は住民参加と関係機関との協働で

目標をみんなで決めたら「協議会」というバックアップを最大限に活用し、みんなで事業を進めていくことが大事です。

14年度は目標達成に向け、協議会の場で議論しながら各関係機関と協働で事業を展開していきます。(別表 たばこ対策14年度取り組み表参照)


4. 振り返りシートを使って事業の進捗管理

地域ぐるみで喫煙対策を進めていくには、各々の機関の取り組み状況を把握し合う必要があります。振り返りシートを使って目標達成に向け、事業の検討・進捗管理を行っていきます。

	アンケート結果	3年後の目標値
目標1 未成年者の喫煙率を下げる	8.6%	→ 4.5%
目標2 公共の場の分煙をすすめる	47.5%	→ 100.0%
目標3 喫煙マナーを守る人を増やす	26.9%	→ 60.0%
目標4 禁煙支援の場を増やす	12.3%	→ 40.0%

たばこ対策14年度取り組み表

昨年度掲げた4つの目標達成に向け、関係機関と協働で具体的な事業について考え実施しています。

	4月	9月	12月	3月
1. 未成年者の喫煙防止	<p>ライフスキル教育研修会の開催（資料1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員を対象に「こころを育む健康教育」の実践研修 <p>小・中・高校における喫煙防止教育のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内小・中学校養護部会との話し合い モデル町における教育員会・小中学校養護部会との連携の取り組み モデル高校における「防煙」の取り組み 保健委員会活動、文化祭での取り組み <p>たばこに関する標語・ポスター・イラストコンクールの開催（資料2）</p>			
2. 分煙	<p>分煙プレートによる啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙対策協議会事業として管内関係機関における分煙をすすめる 医療機関・薬局・行政機関・協議会関係者を通じて職場等の分煙を推進 ヘルスマイトによる住民サイドからの取り組みとして「多数の者が集まる場所の分煙」をすすめる  <p>分煙対策研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 9市町の総務・教育員会・保健福祉課長への分煙対策研修と意見交換の場を持って市町の今後の取り組みについて話し合う 分煙度評価の実施と喫煙マナーのポスター配布（資料4） <p>公共の場における分煙実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政機関・医療機関・飲食店を対象に現状と今後の取り組みと課題について質問紙によるアンケート調査を実施する <p>桑名庁舎における分煙改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーキンググループを設置し、課題について検討 職員を対象としたアンケートの実施 具体的改善策を提示 			
3. 禁煙支援	<p>禁煙相談機関の把握と住民への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関における禁煙の取り組み状況を把握 薬剤師会における禁煙支援の実施 			
4. 喫煙マナー	<p>市町村健康展等で「たばこ相談」の実施</p> <p>ポスター・パンフレットにて喫煙マナーを啓発</p> <p>JTによる喫煙マナー啓発事業の実施</p>			

<p>5. その他</p> <p>1) 喫煙対策協議会</p> <p>2) 事業啓発</p> <p>3) 研修会の開催</p>	<p>第1回喫煙対策協議会の開催 第2回喫煙対策協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各機関における実行計画の報告と全体事業の検討 事業振り返りシートにて事業全体の把握と内容の評価・検討（資料3） （MIDORI モデルによる Plan-Do-See システム） <p>市町健康展にて事業紹介、たばこと健康に関する知識の普及 くわな子どもメッセにて「たばこ対策」ブース参加</p> <p>管内地域保健関係職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度実施した「たばこと健康に関するアンケート調査」の活用研修 ・MIDORI モデルを適用した「たばこ対策」の事例研修
---	--

<15年度の取り組みは>

5. さらなる協働体制の強化と事業の充実

14年度は、事業を推進する核となる関係者がそれぞれの組織のなかで感じている「たばこの課題」を聞きながら各組織と共に保健福祉部の事業を組み立てていきました。

15年度はその延長線上に、保健福祉部はプロモーターとしての役割を担いつつ更なる協働体制の強化と事業の充実を図ります。

○市町支援

長島町高血圧予防事業、木曾岬町・大安町・北勢町歯科保健事業など健康課題を明かにして取り組んでいる管内市町に対して積極的に技術支援を行いました。

長島町「高血圧対策」

昨年度から開始したMIDORIモデルによる長島町の「高血圧対策」は、MIDORIモデルの教育・組織診断・運営・政策診断の段階にきています。町がこれまで取り組んできた保健事業を見なおし、既存の事業の中でやれること、新たな事業として何が必要かを検討しています。

また、同時進行で既存事業の中に順次高血圧対策を組み込んでいく作業を行っていますが、全国的にも「高血圧対策」にMIDORIモデルを適用した先進事例がなく、保健福祉部として今後とも支援を継続していく予定です。

木曾岬町・大安町・北勢町・多度町「歯科保健対策」

木曾岬町では平成14年度からMIDORIモデルによる歯科保健対策に取り組み、行政施策の充実と専門職による教育プログラムの作成から着手し順次進めて、住民参加・専門職以外の地域関係者との協働体制の強化へと事業を展開しています。

今年度は「3年後に3歳児の虫歯を1本にしよう」という目標に向かって、まず「子供のお口の健康づくり学習会」の中で住民代表の方にこの1年どんなことに取り組んできたか、足りないところはどんなことか、これからできそうなことは何かを話し合い、これを受けて「健康づくり専門部会」で保健センター、歯科医院、歯科衛生士会、保育園・幼稚園、老人クラブ・婦人会、ヘルスマイト、商工会、給食センターが「今やっていることの中でできること、新しくできるとしたら何ができるか…」についてそれぞれの立場で話し合いました。さらに、これらを受けて専門職の役割を話し合っていきます。

このようにMIDORIモデルで実践している木曾岬町の歯科保健対策は管内の中で最も進んでおり、現在プロシードの段階を反復しています。管内では木曾岬町に続いて大安町が目標設定後、教育プログラムを作成中、北勢町・多度町ではアンケート調査結果を今年度中にまとめる段階です。

木曾岬町での取り組みは管内市町の貴重な情報源となっており、保健福祉部として今後とも支援を継続して行く予定です。

2. 健康食環境整備事業

総合的な健康づくり対策をより組織的・効果的に推進するため、管内市町や関係団体と協働を図りながら、自主的な健康づくりが生活習慣として実践され定着するように、ヘルシーピープルみえ21の一環として生活習慣病予防を基本とした食の環境づくりを推進した。

(1) 食育推進事業

幼児期から、生涯を通じて健康的な食生活を営める能力を身につけるために、生物を育み、命の大切さを知り、それを適切に食べることを学ぶ「食育」を推進した。

① 研修会

場 所: 桑名庁舎 第一会議室

出席者

所属施設の種類	出席者数(人)	
	管理栄養士・栄養士	その他
学校	4	
児童福祉	3	24
行政	3	2
その他	3	
計	13	26

(2) 歯科保健

・ 歯科保健教室

障害児をもつ母親を対象にう歯予防、口腔保健に関し、県歯科医師会桑員支部の協力を得て、集団指導を行った。

開催日	平成14年9月12日(木)
開催場所	桑名市療育センター
対象者	入園児とその母親
参加人員	28組58名
内 容	講演「乳幼児の虫歯予防」 歯科健診 ブラッシング指導